

## ◆【全国発信記事】長崎支部

### — 連合 2021平和ナガサキ集会 —

8月8日、長崎が、深い平和への祈りの季節を迎えているなか「連合2021平和ナガサキ集会」が開催された。昨年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み開催を見送ったが、今年は新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで、例年より参加人数を縮小して開催に至った。

始めに連合長崎の宮崎辰弥会長は「核廃絶の声と運動を世界中に発信すべく、戦争のない平和な世界の実現に向け、発信力を高めよう」と、あいさつされ、続いて神津里季生連合会長、田上富久長崎市長とあいさつが述べられた。

次に、高校生平和大使やナガサキユース代表団など、若者たちが行っている平和活動が紹介された。また、被爆者の訴えとして、当時13歳、自宅で被爆した丸田和夫さんは自身の被爆体験を語り「きのこ雲の下の実情を風化させぬよう、原爆を体験した私たちが核の恐ろしさを伝えていきたい」と、被爆者の代表として「核廃絶」を強く訴えかけた。

最後に、参加者全員で平和への祈りを捧げ、集会の幕を閉じた。

「海員だより」